

第4期

久留米市食料・農業・農村

基本計画

令和8年度～令和12年度

1 スマート農業

スマート農業機械などの導入促進、スマート農業機械などの効果を最大限に活かすための農地の大区画化や集積・集約の取組みを推進

2 高温対策

高温耐性品種への転換や遮光ネット、循環扇の導入など高温対策の推進

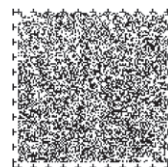
第4期計画の特長

3 就農支援

農業法人への就職や雇用就農からの独立自営就農など、多様な形態での就農支援

4 魅力発信

久留米の美しい田園風景や農村地域、農業・農村の多面的機能を次の世代に引き継ぐために様々な分野と連携し、農業や農産物、農村の魅力を発信



基本施策Ⅰ

生産性・収益性の向上と 高付加価値化の促進



- 1 農畜産物の振興**（米麦大豆、野菜、果樹、緑花木、畜産、水産）
 - 米の高温耐性品種への転換を推進し、米麦大豆の安定的な生産体制を維持
 - 全国有数の野菜産地として、施設園芸、露地栽培の生産を支援
 - 安定した栽培技術の確立や品質向上に向けた取組みを促進
- 2 効率的な生産体制の確立**
 - 国県の事業を活用し、先進技術の導入や耐候性ハウスの導入、省力機械の整備を支援
 - スマート農業の導入、スマート農業に適した生産方式への転換など環境整備を促進

3 安全で安定的な農畜産物の提供

- GAPの取組みや導入を促進
- 農作業安全の意識啓発活動推進、農業共済や収入保険制度への加入を促進
- 卸売市場施設の計画的な施設改修・修繕

4 農業経営の多角化の促進

- 農産物の高付加価値化や農産物加工品の新商品の開発・改良など6次産業化を支援
- 輸出やインターネット販売など新たな販売方法や販路拡大への支援



基本施策Ⅱ

担い手の育成・確保と 多様な人材の活用

1 基幹的な担い手の経営力強化

- 認定農業者の経営力強化を促進
- 水田農業の中心的な担い手である集落営農組織の支援、農業経営体の法人化支援
- 女性農業者の意思決定への参画を促進

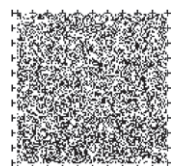


2 将来の担い手の育成と確保

- 就農前から営農定着までの継続支援
- 農業法人への就職、雇用就農からの独立自営就農など多様な形態での就農を支援
- 職業としての農業の魅力発信、移住・定住事業等と連携したPR

3 多様な担い手と人材の確保

- 小規模農家など多様な担い手の営農継続を支援
- 外国人の受入農家を対象とした研修会の開催などの支援
- 農福連携の推進など誰もが働きやすい環境整備を促進



全体 目標

魅力ある農業都市・ 久留米の持続的発展

久留米市は、農業産出額が県内第1位で、約30万人の市民（消費者）が居住する「農業都市」です。その特徴を活かし、農業・農村の持つ様々な魅力を引き出すとともに、魅力ある農業都市として環境との調和を図りながら持続的に発展していくことを目標とします。

基本施策Ⅲ

持続可能な 生産基盤の維持・確保



1 生産基盤の整備と防災・減災対策の推進

- 農地の大区画化、暗きょ排水及びかんがい施設、農道・用排水路等の生産基盤を整備
- 農業用水利施設の長寿命化対策を推進
- ため池や排水機場等の整備・改修、田んぼダムや先行排水による防災・減災の推進
- 浸水防止壁・排水ポンプ等の設置への支援、災害回避に向けた啓発
- 農道や用排水路、ため池などへの安全対策を推進

2 農地の有効利用の促進

- 地域計画の更新を通じて農地の集積・集約を推進
- 遊休農地の発生防止や再生利用を促進
- 関係法令に基づく農地の確保と有効利用

3 環境と調和した農業の推進

- 多面的機能の維持・発揮のため、地域農業者や住民との協働活動を推進
- 中山間地域における農業生産活動の維持を支援
- 有機農業や環境負荷低減の取組みを支援
- 気候変動に適應する生産安定技術・品種の導入を促進
- 有害鳥獣侵入防止柵設置、ICT機器活用による捕獲活動の強化、緩衝帯の整備等の推進



共通施策

食料・農業・農村の理解促進



1 「農業都市・久留米」の 魅力発信によるブランド力向上

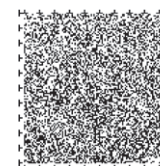
- 農産物マルシェの開催、都市圏でのトップセールス、メディアの積極的な活用、「くるめふるさと大使」の活用など農業都市久留米の魅力発信
- 「道の駅くるめ」の情報受発信機能の強化
- 「久留米市世界つつじセンター」や「久留米つばき園」を活用した「久留米つつじ」や「久留米つばき」等の魅力発信

2 地産地消を通じた魅力発信

- 「道の駅くるめ」や小売店等での久留米産農産物の表示強化
- 久留米産農産物の学校や飲食店、市内事業所等への導入促進
- 中央卸売市場関係者や出荷者との意見交換など久留米産農産物の集出荷機能の強化

3 食料・農業・農村に関する理解促進

- 「農業都市・久留米」の特徴を活かした食育推進
- 「農業まつり」などでの生産者と消費者の交流、学童農園などによる食と農への理解促進
- 多面的機能の理解促進に向けた若い世代への周知・啓発
- 農業体験（くる農）や農家民泊（泊まらん農）による農村地域等への理解促進



指標項目	単位	第4期計画	
		基準値 (R7年度)	目標値 (R12年度)
全体目標	農業産出額 国公表の市町村別農業産出額	億円	310(R5年) 358(R11年)
	担い手への農地集積率 認定農業者、認定新規就農者、集落営農、基本構想水準到達者への農地集積率	%	80.8(R6) 81
	農業都市・久留米の愛着度 くるモニアンケートにおいて「愛着を感じる」「どちらかといえば感じる」の割合の合計	%	89.7 90
基本施策Ⅰ 生産性・収益性の向上と高付加価値化の促進			
	米の高温耐性品種の作付面積	ha	867(R6) 1,680
	米のスマート農業技術活用割合	%	27 33
	GAPの認証取得数	—	6件 11件(累計)
	6次産業化の支援件数	件	21 25
基本施策Ⅱ 担い手の育成・確保と多様な人材の活用			
	認定農業者の法人化率	%	14.7(R6) 16.5
	認定農業者における女性の割合	%	7.3(R6) 10.0
	認定新規就農者の認定農業者への移行数	件	49(R6) 76(累計)
基本施策Ⅲ 持続可能な生産基盤の維持・確保			
	農業水利施設等整備の達成率	%	— 100
	遊休農地の面積	ha	91.2 89.5
	農業・農村の多面的機能の維持に取り組む活動農地面積の割合	%	70.3(R6) 75.0
	有機JAS認証面積	ha	9.65 10.9
	有害鳥獣による農産物被害額	千円	41,807 36,807
共通施策 食料・農業・農村の理解促進			
	農業都市・久留米の認知度	%	62 70
	久留米産農産物を食べるよう意識している市民の割合	%	51.7 65
	学童農園参加割合	%	86.4(R6) 100
	農業・農村の持つ多面的機能の認知度	%	57.4 65

農業者、農業団体、市民、事業者、市の責務や役割

計画に基づいて、施策や事業を展開し、目標を実現するために、農業者や農業団体、市民、事業者が計画の内容を理解し、各自が役割を認識した上で、それぞれが主体的に計画を推進します

農業者・農業団体の責務

- 市内出荷や積極的な情報発信、消費者ニーズの把握により、市民の理解促進や信頼確保を図る
- 農地や農道などの適正な維持管理により、農業・農村の多面的機能を保全する
- 収益性の高い農業への経営改善を進め、次世代へ技術や知識を継承する
- 農業者の経営の安定化や生産性・品質の向上などの競争力の高い産地育成に努め、安定的に農産物・農産加工品を供給する

市民の役割

- 農業関連情報に積極的に触れ、農業者と交流し、食料・農業・農村について理解する
- 農村環境や農業生産基盤施設の維持保全活動への参加、久留米産農産物の積極的な消費などで久留米の農業を応援する

市の責務

- 農業者や農業団体、市民、事業者、国や県などと連携し、計画を着実に推進する

事業者の役割

- 久留米産農産物や農産加工品の積極的な利用や消費者への提供を推進する

